

平成28年 舞鶴市議会意見交換会報告書

民生環境班

開催日時	平成28年7月21日（木）午後3時～5時		
開催場所	舞鶴市役所 本館4階 議員協議会室		
テーマ	よりよい保育環境づくりについて		
対象団体	舞鶴市民間保育園連盟		
参加人数	12名	傍聴者数	13名
出席議員 (役割分担)	和佐谷寛(座長)	上羽和幸(記録・報告)	尾関善之(議会報告)
	小杉悦子(資料準備)	鯛 慶一(要録)	山本治兵衛(記録・報告)
内 容	【概要】		
	議長と保育園連盟会長の挨拶に続いて、出席議員の自己紹介を行った後に、予め準備及び配布した資料に基づき、一般会計の歳出について保育関係の事業説明と6月定例会の審議内容について報告した。		
	その後、各保育園長から自己紹介と自園の紹介を受けた後に、「よりよい保育環境づくりについて」をテーマとし、意見交換を行った。		
	多くの意見や要望を交換し、最後に座長から閉会の挨拶を述べ、閉会した。		
	【意見・要望等】		
	・保育園の運営費について、年度途中からの入園となる予約に対し、実際の受入態勢を構築する職員体制は4月から準備を整えなくてはならないが、運営費で支給される職員費については、園児が入園してからになる。その事が民間保育園の経営面で影響を与える事があり、職員確保の問題や入園受入の困難な状況を作り出す。何か良い方法を一考頂きたい。		
	・保育園の運営費は国が50%を負担し、残りは京都府と舞鶴市がそれぞれ負担する。つまり、保育環境を良くするには市の保育行政について、どのように考えるかである。府下の南部へ注目すると市の単費が明らかに違う。		
	・実際の職員募集について、時給額に明らかなギャップがある。年次昇給についても他の分野における職業と比べても見劣りする現状がある。人材確保の面から、最初に考えなくてはならない現実である。		
	・舞鶴市は乳幼児教育ビジョンが策定され、幼保小連携の強化を求めており、各園も理解し協力をしている。ただ、よりよい保育や教育には大人の手がかかるという事実を理解してほしい。国の基準で運営する以上は必要以上の保育士を雇用する事も叶わず、子どもが多すぎる、職員が少なすぎる、園舎も狭すぎる。舞鶴市には独自の基準でよりよい保育をめざしてほしい。		
	・園児の食事について、各園は自園調理である。各園が工夫を凝らして園児の為に用意している食事をぜひ、ごらんいただきたい。		
	・西地区のこども園について、定員割れの私立園が存在するにも関わらず、新たなこども園の創立には疑問がある。		

舞鶴市議会議長 桐野正明様

平成28年 8月 2日

舞鶴市議会意見交換会実施要領第9項(1)により、報告書を提出します。

民生環境座長 和佐谷 寛